



子ども霞が関見学デー（平成28年7月27日～28日 農林水産省内）

CONTENTS

全米熱帯まぐろ類委員会 (IATTC) 第90回会合（年次会合）について	2
資源管理部 国際課	
ファストフィッシュの取組について	4
漁政部 企画課	
第21回海区漁業調整委員会委員の選挙について	6
資源管理部 漁業調整課	
コラム～子ども霞が関見学デー	7
漁政部 漁政課	
平成28年7月分のプレスリリース	8

全米熱帯まぐろ類委員会(IATTC)第90回会合(年次会合)について

資源管理部 国際課

1. はじめに

平成 28 年 6 月 27 日から 7 月 1 日まで、ラホヤ（米国）において全米熱帯まぐろ類委員会 (IATTC) 第 90 回会合（年次会合）が開催されました。

全体として、太平洋クロマグロ保存管理措置、メバチ・キハダ保存管理措置をはじめ、重要事項の大半が合意に至らなかったことから、会合を中断し、本年 10 月に再開して議論を継続することとなりました。会議には、日本、米国、韓国、メキシコ、エクアドル等 18 ヶ国、台湾、EU がメンバーとして参加しました。我が国からは、田中首席漁業調整官ほか、水産庁、国立研究開発法人水産研究・教育機構及び関連業界の関係者が参加しました。

2. 主な結果

(1) 太平洋クロマグロ保存管理措置

本年 3 月の北太平洋まぐろ類国際科学小委員会 (ISC) の資源評価結果を踏まえ、IATTC 科学事務局より出された、現行の保存管理措置（商業漁業については、2015 年及び 2016 年の年間漁獲上限 3,300 トンを原則とし、2 年間の合計が 6,600 トンを超えないように管理。）を 2018 年まで 2 年継続すべきとの勧告について議論されましたが、合意には達せず、再開会合で結論を出すこととなりました。

(2) メバチ・キハダ保存管理措置

IATTC 科学事務局より、現行の保存管理措置（まき網漁業：62 日間の全面禁漁。沖合特定区での 1 ヶ月禁漁。はえ縄漁業：国別メバチ漁獲枠の設定。）から、まき網漁業の禁漁期間を拡大（62 日⇒87 日）すべきとの勧告について議論されましたが、合意には達せず、再開会合で結論を出すこととなりました。

(3) 中西部太平洋まぐろ類委員会 (WCPFC) 北小委員会との合同作業部会について

昨年の WCPFC 北小委員会において、太平洋全域でのクロマグロの適切な管理に向けた効果的な取組を目指し、IATTC に対して合同作業部会の開催を働きかけることが合意されていましたが、今回の会合においてこれが承認されました。作業部会は本年の WCPFC 北小委員会（8 月 29 日～9 月 2 日、福岡で開催）期間中に開催されます。

(4) その他

事務局長選挙が行われ、現職のコンペアン博士（メキシコ）が選出されました。また次回の年次会合は、2017 年 7 月頃にバヌアツ共和国で開催されることが合意されました。



会場風景



会場の様子①



会場の様子②

ファストフィッシュの取組について

漁政部 企画課

1. 「魚の国のしあわせ」プロジェクト

「魚の国のしあわせ」プロジェクトは、消費者に魚食の魅力を訴え水産物消費を拡大していくため、漁業者、水産関係団体、流通業者、各種メーカー、教育関係者、行政等の水産に関わるあらゆる関係者が一体となって進めている官民協働の取組として、2012年8月に開始されました。このプロジェクトの下、「ファストフィッシュ」、「『魚の国のしあわせ』プロジェクト実証事業」、「お魚かたりべ」及び「学校教育を通じた魚食普及の支援」の4つの取組を行ってきました。それぞれの内容は以下のとおりです。

①「ファストフィッシュ」

手軽・気軽においしく水産物を食べることを可能にする商品及びその食べ方がわたしたちのファストフィッシュ委員会によって選定されています。現在のべ595社3,212商品が選定され、スーパーマーケットやコンビニエンスストアの売り場に定着してきています。

②「『魚の国のしあわせ』プロジェクト実証事業」

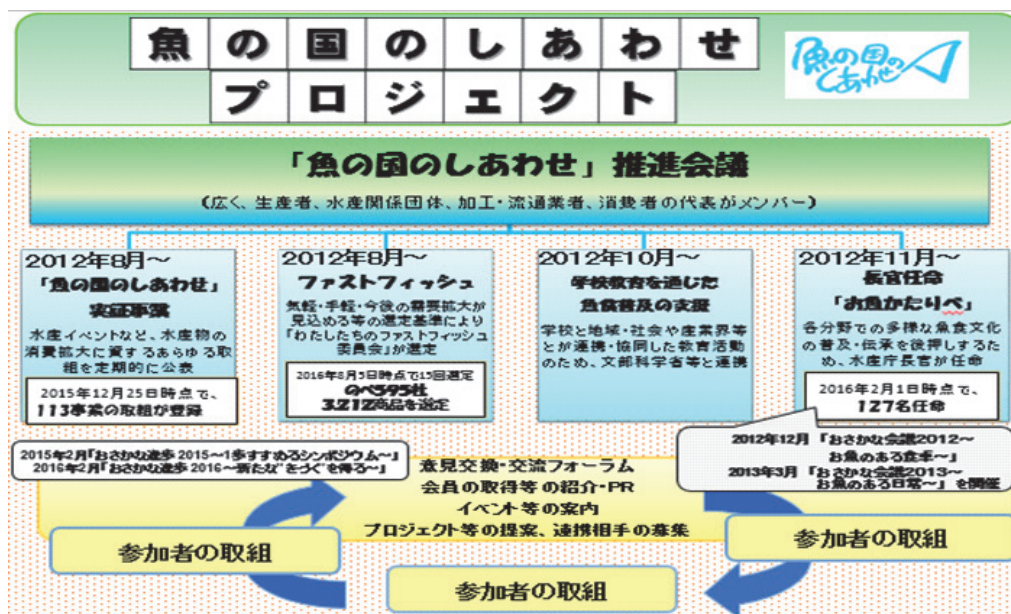
当プロジェクトの趣旨に賛同し、販売方法、食育活動、外食メニュー開発、水産物イベント等水産物の消費拡大に資するあらゆる取組を登録・公表し、活動の横展開を図ります。現在までに113事業の取組が登録され、優良な取組は「魚の国のしあわせ」推進会議によって魚の国のしあわせ大賞【実証事業部門】として表彰されています。

③「お魚かたりべ」

魚食文化の普及・伝承に努めている方々を、水産庁長官が「お魚かたりべ」として任命し、魚食に関する情報発信の取組を後押しします。現在までに127名が任命され、全国各地で活動を行っています。

④「学校教育を通じた魚食普及の支援」

文部科学省の「子供と社会の架け橋となるポータルサイト」「土曜学習応援団」と連携し、学校教育の場における魚食普及活動の支援を行っています。「土曜学習応援団」には、水産に関わる27企業・団体が登録されています（平成28年8月17日現在）。



2. カテゴリー別ファストフィッシュの新設

ファストフィッシュが新たな水産加工品の開発の動機付けとなり、多数の商品が開発・販売され、今ではお店にも簡便な水産加工品（魚惣菜）が数多く並ぶようになりました。しかしながら、商品として定着した一方で、月日の経過とともに新規性が薄れ、認知度の低下が指摘されております。そこで、これまでの「手軽・気軽においしく水産物を食べる」という商品全体のコンセプトから、さらにターゲットやカテゴリーを明確にし、商品の「売り」や「特性」をより強く消費者にアピールするために、新たにカテゴリー別ファストフィッシュを設けました。すなわち、子供が好み、家庭の食卓に並ぶ商品や食べ方を想定した「キッズファストフィッシュ」と、国産魚を使用した商品や地方独特の食べ方を想定した「ふるさとファストフィッシュ」というカテゴリーを新たに設け、選定されています。既選定品についてはファストフィッシュとして継続登録されますが、カテゴリー別ファストフィッシュの登録を希望される商品については新たに応募を受け付けています。これに登録されると、既存のファストフィッシュに加え、新たにカテゴリー別ファストフィッシュとして登録されます。今年の審査結果を含む第15回までの選定結果を「魚の国のしあわせ」プロジェクトホームページで公開しております。
(<http://www.jfa.maff.go.jp/j/kikaku/shiawase2.html>)。

【新たなカテゴリー別ファストフィッシュ】

ターゲット	子供	国産志向消費者 地域特産品希望者	全年齢
名称	キッズ ファストフィッシュ	ふるさと ファストフィッシュ	ファストフィッシュ
商品 コンセプト	子供が好み、家族の食卓に並ぶ商品や食べ方 ・お弁当用冷凍食品 ・スナック・お菓子系商品	国産魚、地方独特の魚を利用した商品や食べ方 ・国産魚を使った商品 ・地方独特な魚を利用した商品	手軽・気軽においしく、水産物を食べることで及びそれを可能にする商品や食べ方

3. 今後のスケジュール

第16回ファストフィッシュ商品を、2017年1月30日（月）10時から2月10日（金）17時まで公募し、委員会にて選定します。

応募の様式はこちらに掲載しております。
「魚の国のしあわせ」プロジェクトについて

CLICK!

<お問い合わせ先>
水産庁漁政部企画課「魚の国のしあわせ」プロジェクト事務局
Email: fastfish@maff.go.jp
TEL: 03-3502-8111 (内線6573)
ダイヤルイン: 03-3592-0731
FAX: 03-3501-5097

第21回海区漁業調整委員会委員の選挙について

資源管理部 漁業調整課

近年、我が国水産業は生産量の減少や経営の悪化等、厳しい状況に直面しています。また、本年2月には、TPP協定の署名が行われ、今後の国際環境の変化に対応していくため、政府のTPP総合対策本部で取りまとめられた「総合的なTPP関連政策大綱」に基づき、持続可能な収益性の高い操業体制への転換等、様々な施策を講じて「水産日本の復活」に向け取り組んでいくこととしています。

こうした情勢の中で、漁業者及び漁業従事者を主体とする漁業調整機構として、水面を総合的に利用し、漁業生産力の発展を図るために設置されている漁業調整委員会（海区漁業調整委員会、連合海区漁業調整委員会及び広域漁業調整委員会）が果たす役割は、より一層重要なものとなっています。

海区漁業調整委員会は、海面（※1）について、農林水産大臣が定める64の海区（※2）ごとに都道府県に設置されている行政機関です。海区漁業調整委員会は、原則（※3）として、漁民委員9人、学識経験委員及び公益代表委員6人の計15人で構成されます。漁民委員については、公職選挙法に準じた漁業法に基づく選挙で選出し、その任期は4年となっています。

本年は、4年に1度の選挙の年に該当し、8月3日（水曜日）に第21回海区漁業調整委員会委員の選挙が行われました。この選挙では、全64海区のうち、8の海区において投票による選挙が行われました。なお、残る56海区については、立候補者数が委員の定数を超えなかったため、無投票となりました。この選挙結果の概要について以下のとおりお知らせいたします。

○第21回海区漁業調整委員会委員選挙の結果

		有権者数				投票総数（票）				投票率（%）			
		男	女	法人	計	男	女	法人	計	男	女	法人	計
投票のあった海区	青森県東部	4,574	3,855	14	8,443	2,787	2,489	8	5,284	60.93	64.57	57.14	62.58
	岩手	6,557	3,379	43	9,979	4,497	2,244	36	6,777	68.58	66.41	83.72	67.91
	秋田	1,092	194	18	1,304	756	127	15	898	69.23	65.46	83.33	68.87
	福岡県豊前	518	472	2	992	484	419	2	905	93.44	88.77	100	91.23
	福岡県有明	1,585	1,089	0	2,674	1,447	1,012	0	2,459	91.29	92.93	-	91.96
	五島	1,490	118	23	1,631	1,102	99	19	1,220	73.96	83.90	82.61	74.80
	対馬	1,656	687	3	2,346	1,213	449	3	1,665	73.25	65.36	100	70.97
	鹿児島	4,045	1,670	149	5,864	2,916	1,215	133	4,264	72.09	72.75	89.26	72.71
8海区合計		21,517	11,464	252	33,233	15,202	8,054	216	23,472	70.65	70.25	85.71	70.63

※1 大臣が指定する琵琶湖、霞ヶ浦等の湖沼を含む。

※2 原則として、1県1海区であるが、北海道には10海区、青森県には2海区置かれているなど例外がある。

※3 離島等の海区については、漁民委員6人、学識経験委員及び公益代表委員4人の計10人。



コラム 子ども霞が関見学デー

7月27日（水）及び28日（木）に、毎年恒例の「子ども霞が関見学デー」が実施されました。

「子ども霞が関見学デー」は、文部科学省をはじめとした府省庁等が連携して、業務説明や省内見学などを行うことにより、親子のふれあいを深め、子どもたちが夏休みに広く社会を知る体験活動の機会とするとともに、府省庁等の施策に対する理解を深めてもらうことを目的として、平成12年度から実施しています。

農林水産省内に設けられた水産庁の4つの会場には、2日間で過去最高の5,001名（うち子ども2,946名）のお子様及び引率者の皆様にご来場頂きました。

会場では、クジラについてのクイズ、パネルや実物標本の展示、鰹節削りなどを通じて、たくさんのお子たちに水産業についての関心を深めて頂きました。

また、おさかなたべよう大使のKIRIMIちゃん、バレニンくんにも遊びに来てもらい、子どもたちと一緒に

に写真を撮るなど楽しくふれあいました。

さらに、昨年好評だった「真珠を使ったドアプレート製作教室」については、今年も関係団体から通常は処分される規格外の真珠のご提供を頂き、自分だけの個性豊かなドアプレート作りを楽しまれているのが印象的でした。

加えて、今年新たに開設した「錦鯉」ブースにも大勢の皆様にご来場頂き、大きな錦鯉におどろいたり、直接ふれて喜んでいる子どもたちが印象的でした。

さらに、28日（木）には、農林水産省お魚大使の「さかなクン」によるお魚講座を開催しました。今年も、魚と野菜の「旬」をテーマに、当日の朝にさかなクンが獲ってきた魚などについて、野菜ソムリエ「べじたぶるTOMOKO」さんとともに、イラストを交えた楽しい解説により、「旬」のたべものの大切さを学んで頂きました。



会場の様子



お魚大使「さかなクン」のお魚講座



人気の鰹節削り体験



こちらも人気の真珠を使ったドアプレート製作教室



クジラについて学ぼう



錦鯉タッチプール

発表年月日	発表事項名	担当課
H28.7.1	「2016 年 IWC/ 日本共同北太平洋鯨類目視調査」の実施について	国際課
H28.7.1	「南インド洋漁業協定 (SIOFA) 第 3 回締約国会議」の開催について	国際課
H28.7.2	「全米熱帯まぐろ類委員会 (IATTC) 第 90 回会合 (年次会合)」の結果について	国際課
H28.7.4	第 15 回ファストフィッシュ商品の公募と、カテゴリー別ファストフィッシュの新設について	企画課
H28.7.5	「水産政策審議会第 61 回企画部会」及び「水産政策審議会第 78 回資源管理分科会」の開催及び一般傍聴について	漁政課
H28.7.11	「南インド洋漁業協定 (SIOFA) 第 3 回締約国会議」の結果について	国際課
H28.7.15	佐藤農林水産大臣政務官の国内出張について	漁政課
H28.7.15	「水産政策審議会第 36 回漁港漁場整備分科会」の開催及び一般傍聴について	計画課
H28.7.22	「第 15 回聞き書き甲子園研修会開会式」の開催について	計画課
H28.7.22	農林水産関係団体と農林水産省との意見交換 (水産業: 第 5 回) の開催について	漁政課
H28.7.25	「2016 年度第二期北西太平洋鯨類捕獲調査 (沖合調査)」の終了について	国際課
H28.7.26	平成 28 年度子ども霞が関見学デー～水産庁イベントについて～	漁政課
H28.7.27	「太平洋クロマグロの資源・養殖管理に関する全国会議」の開催及び一般傍聴について	漁業調整課
H28.7.27	さけ・ます代替漁法の試験操業結果について	研究指導課
H28.7.29	第 21 回海区漁業調整委員会委員選挙の実施について	漁業調整課
H28.7.29	平成 28 年度サンマ長期漁海況予報 (道東～常磐海域)	漁場資源課
H28.7.29	「水産政策審議会第 62 回企画部会」の開催及び一般傍聴について	企画課
H28.7.29	「日パラオ漁業協議」の開催について	国際課

編集後記 窓辺のカーテン

子どもたちの夏休みが始まった去る 7 月 27 日、28 日の両日、今年も農林水産省内で「子ども霞が関見学デー」が実施されました。

水産庁の会場では、関係団体等のご協力の下、毎年人気の水産加工品、真珠、クジラ等のコーナーに加え、今年は新たに「錦鯉」のブースを設け、大勢の皆様にご来場頂きました。

子どもたちの真剣なまなざしに接し、水産業についての関心をさらに深めてもらえたものと感じています。「漁政の窓」では、皆様に水産庁施策についてわかりやすくお伝えできるよう努めていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

ご意見やご質問がありましたら、以下にお願いいたします。

水産庁施策情報誌 漁政の窓

編集・発行 水産庁漁政部漁政課広報班

〒100-8907 東京都千代田区霞が関 1-2-1 合同庁舎 1 号館 8 階

代表 03-3502-8111 (内線 6505)

URL <http://www.jfa.maff.go.jp/>

ご意見 ご質問はこちらへ ➡ URL <http://www.maff.go.jp/j/apply/recp/index.html>